

顕微鏡の使い方(小学校編)

1 大切な約束

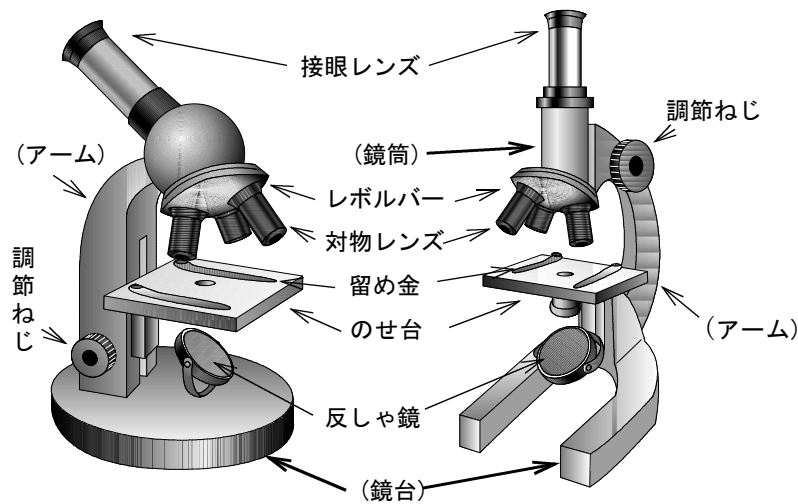
- ★顕微鏡は直射日光の当たるところに置かないこと！
- ★一度顕微鏡を置いたら動かさないこと

2 持ち方, 運び方

- ★アームと鏡台の下を持って運ぶ。鏡筒を持たない。
- ★箱ごと運ぶときは、取っ手と箱の底を持って運ぶ。箱の扉が開かないように扉を手前にして運ぶ。
→ 落とさないように注意しよう！



3 各部の名前



4 使い方

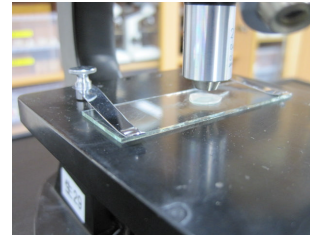
①顕微鏡を置く

顕微鏡は一度置いたら動かさないようにしよう。動かすと光を入れるところからやり直しになるよ。

②のぞきながら光を入れる



③プレパラートをのせ台にのせる



④横から見ながらプレパラートと対物レンズを近づける



⑤のぞきながらピントを合わせる



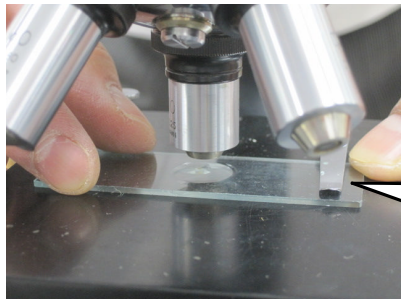
ゆっくりと調節ねじを動かそう
1回目にピントが合うのはスライドガラスの下側！
2回目にピントが合うときにターゲットはあるぞ

スレパールの作り方



5 高度な使い方

①スライドガラスを動かして観察するものを探す



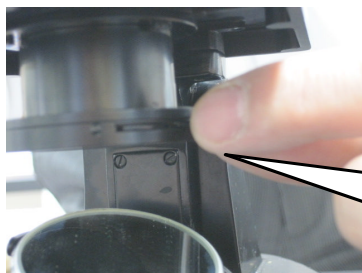
スライドガラスを左に動かすと観察物は右に、手前に動かすと観察物は上に動くよ！

②対物レンズを換えてもっと拡大する



レボルバーを回して高倍率の対物レンズに換えよう。
ぶつかりそうでも、ピントが合っていればぶつからない！
対物レンズを換えたあと、微調節すればピントはばっちり！

③わざと暗くして見やすくする

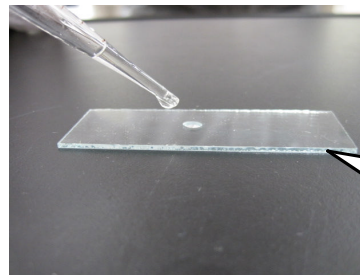


顕微鏡に入る光の量を調節して少し暗くしよう。
見にくい線が見えるようになる場合があります。

①スライドガラスに観察物をのせる

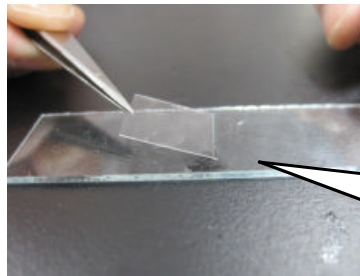
ピンセットやピペットで観察するものをのせよう

②水を一滴たらす



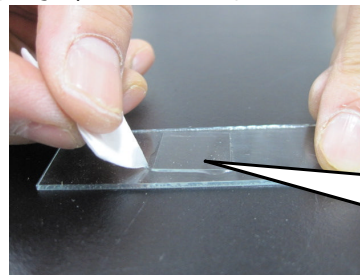
水は観察物を見やすくし、ガラスと観察物をくっつける役割をする！

③あいだに気泡が入らないようにして斜めにカバーガラスをかける



カバーガラスを静かにたおして、気泡を追い出すようにするのがコツだよ！

④はみ出た水やカバーガラスの上について水を丁寧にろ紙で吸い取る。



きちんと吸い取らないと対物レンズに水が付き、使えなくなってしまうよ